



十字架の道行

Via Dolorosa

鹿児島教区
カトリック 谷山教会

十字架の道行

— 誰のために 何のために —

第1留 イエスが 死刑の宣告を受ける

計り知れぬほどの恩を受けた人が
恩人に向かって手をあげた
彼を取りのぞけと

第2留 イエスが 十字架を担う

力なく歩かれたキリスト
私たちの人生の暗き日々を背負うかのように
人ごみの中をじっと耐えて
今までの教えが間違いで
行なった数々の善業
愛の奇跡はすべて空しかったかのように

第3留 イエスが 初めて倒れる

気づかないうちに
キリストを倒すほどに
積み重ねられていた私の罪…
倒れた私を引き起こすために
私に代わって倒れるキリスト

第4留 イエスが 聖母に出会う

十字架の道
ここで神の子 救い主の苦しみと
神の母 救われる者の苦しみが 一つにとけ合った
誰もどうしようもできない
ただ苦しみを分かち合う
悲しみを通して一つに結ばれ
何もできない無限の力と
無限の愛を通して救いが全うされる

第5留 イエスが キレネのシモンの助力を受ける

キリストを助けること
それはキリストに助けられること
自発的によるこびをもって
十字架を担いつづけるシモン

第6留 ヴェロニカが イエスの^{み かお}聖顔を拭く

「主がみ顔を向けてあなたを照らし
あなたに恵みを与えられるように」
キリストは
苦しみの面影が鮮やかに映った
その布を
ヴェロニカに お返しになる
人々の救いのために苦しむキリストの面影
これこそキリストが
私たちにおくる面影である

第7留 イエスが 再び倒れる

倒れない保証のできない弱い人間
一度起き上がったにもかかわらず
また倒れるのが
私たちの弱さの実態である
キリストはすばらしい私たちを
愛してくれるのではない
倒れて そしてまた倒れる私を愛される
希望と勇気をもたせるために
また起き上がられて歩まれるキリスト

第8留 イエスがエルサレムの婦人たちと逢う

「エルサレムの娘たちよ
わたしのために泣かなくてもよい…」
痛めつけられている人の口から
いつくしみのことばが
殺されていく人の口から
思いやりの言葉が発せられるとは

第9留 イエスが三度目に倒れる

「一粒の麦が地に落ちて…」
徹底的に死ななければ新しい実りはない
三度まで極みまで
地に落ちて死んでくださったキリスト

第10留 イエスが衣をはぎ取られる

多くのものをまだ捨てず
多くのものをまだ奪われていない私たち
すべてを捨てて すべてを奪われてこそ
すべてを受け入れられることができ
すべてが可能になる

第11留 イエスが十字架にかけられる

すべての自由を
手足の自由までも奪われたキリスト
何かができる犠牲
何かがまだ残されている犠牲は
まだ初歩に過ぎない
愛のために
すべての自由がなくなったように見えるとき
十字架のキリストに最も近くにいる

第12留 イエスが 十字架上で息を引き取る

信仰のあかし

それは生命いのちをかけてのあかしである

どこにいても どんな人にもついてまわる十字架

死のあかしによって全うされるとき

そのときだけが 本物の信仰である

第13留 イエスが 十字架から降ろされる

復活の日を信じ

勝利のときを待つほかは何もできない母

母マリアのあたたかい両腕がキリストを迎え

キリストのすべてを受けとめる

私たちの救いは

マリアの心で

キリストのすべてを

受けとめることにある

第14留 イエスが 墓に葬られる

すべては無に帰したように見える

しかし 負けたときに勝ち

殺されたときに 本当の命があふれ

孤独になったとき 本当の仲間ができあがった

キリストの救いの奥義は

すぎこしの奥義は

キリストの墓のこの虚無を受け入れることにある

第15留 イエスが 復活する

新しい命 新しい世界

主は希望をこの世界に残された

二人の白い衣の人は言う

「あのかたは甦ってガリラヤで…」

——— 一目散に走りゆくマリア

このマリアの姿を

今日 ここに刻みたい「私は主を見ました」と

【各留の〈聖書〉参照箇所】

1. マタイ20:18・マルコ15:14~15
2. ヨハネ19:17
3. イザヤ53:44
4. ルカ2:34~35
5. ルカ23:27
6. 民数記6:24~26
7. イザヤ63:9
8. ルカ23:28~29, 31
9. マタイ26:39・ヨハネ12:24
10. マルコ15:24・マタイ27:28~29
11. ヨハネ19:18~19
12. マタイ27:50~52・マルコ15:33~34・ヨハネ19:30
13. ヨハネ19:25, 35
14. マタイ27:59~60・ヨハネ19:40~42
15. ヨハネ20:11~18

- 本文編集：Fr. 頭島 光 Sr. 浦田カズ代
参考文献：『ロザリオのこころ』（松永久次郎著 聖母の騎士社 S54）
- 表紙絵《Via Dolorosa》Sr.URATA Kazuyo I.C.M. 作
acrylic gouache 27.3×27.3 cm(15連作)
鹿児島教区・カトリック谷山教会 蔵
- 発行日：2021年5月23日 Pentecoste